

2015年度 第43回 全労済 小学生 作品コンクール

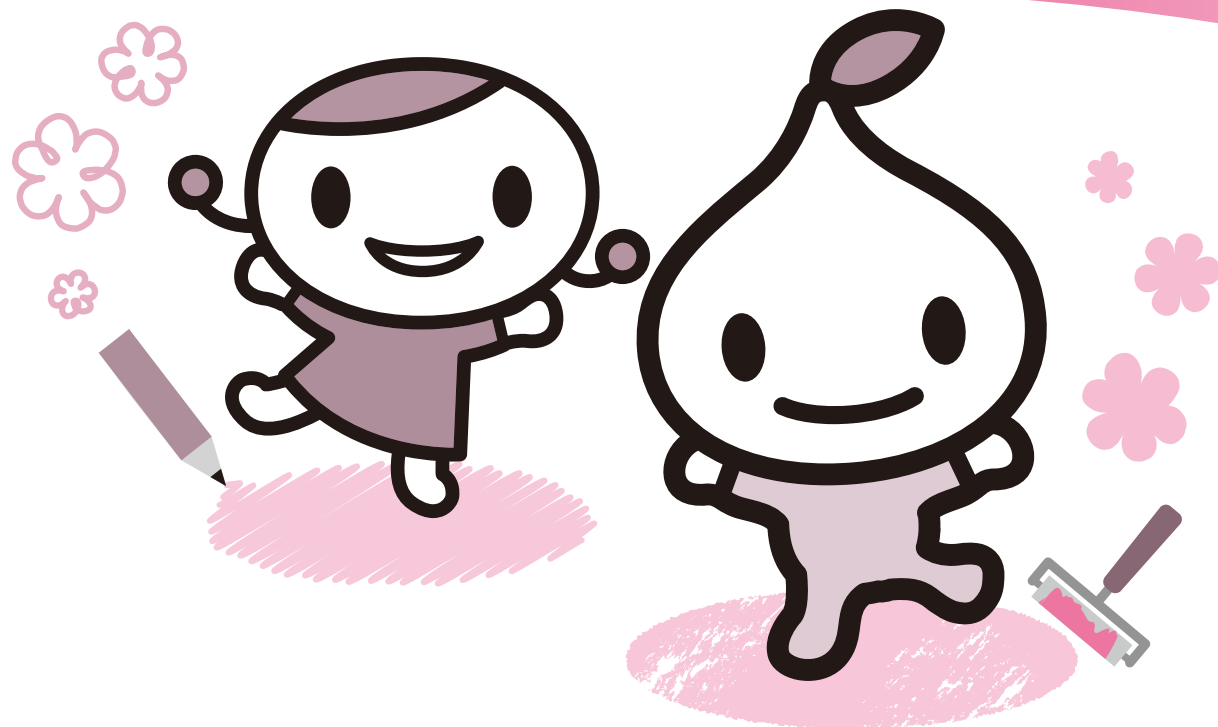
「作文」と「版画」作品募集のご案内

締切日

2016年1月8日(金)必着

テーマ

作文 ● ぼくの・わたしの未来
「こんなおとなになりたいな」
版画 ● 自由課題



主催 全労済

第42回中央コンクール表彰式を開催しました。

第42回全労済小学生作品コンクールの表彰式は、2015年3月1日(日)、東京・全労済ホール スペース・ゼロにて入賞者、ご指導いただいた先生方、ご家族など約150名の方にお集まりいただき盛大に行われました。

晴れの舞台に緊張感たよう中にも笑顔があふれ、入賞作文の朗読は参加者に深い感銘を与えたようです。

今回(第43回)も2016年3月6日(日)に東京で中央コンクールの表彰式を行う予定です。

子どもたちの限りの感性と夢と希望にあふれる作品をお待ちしております。



第42回 後援 ● 茨城県教育委員会・栃木県教育委員会・群馬県教育委員会・埼玉県教育委員会・千葉県教育委員会・東京都教育委員会・神奈川県教育委員会・長野県教育委員会・山梨県教育委員会・静岡県教育委員会・(株)水戸放送局・宇都宮放送局・前橋放送局・さいたま放送局・千葉放送局・横浜放送局・長野放送局・甲府放送局・静岡放送局・茨城県・茨城新聞社・茨城放送・上毛新聞社・埼玉新聞社・千葉テレビ放送・長野県・信濃毎日新聞社・SBC 信越放送・NBS 長野放送・TSB テレビ信州・abn長野朝日放送・山梨日日新聞社・山梨放送・静岡県・静岡新聞社・静岡放送・テレビ静岡

これまでの作品テーマ

●1973年 第1回	○ 火事	(作文のみ)	●1991年 第19回	○ たいせつなもの ～自然や環境をどのようにして守るか～	(作文)
●1974年 第2回	○ はたらく人	(作文・版画)	●1992年 第20回	○ 私と家族	(作文)
●1975年 第3回	○ たすけあい	(作文・版画)	●1993年 第21回	○ 交通の発達とわたしたちの暮らし	(作文)
●1976年 第4回	○ 仲間	(作文・版画)	●1994年 第22回	○ わたしたちの大切な友だち	(作文)
●1977年 第5回	○ いのちをたいせつにする	(作文・版画)	●1995年 第23回	○ わたしの大好きなこと・大好きなもの	(作文)
●1978年 第6回	○ 遊ぶ	(作文・版画)	●1996年 第24回	○ ぼくの・わたしの通学路	(作文)
●1979年 第7回	○ 私の家族	(作文・版画)	●1997年 第25回	○ ぼくの夢・わたしの夢	(作文)
●1980年 第8回	○ ぼくの失敗、わたしの失敗	(作文)	●1998年 第26回	○ ぼくの家族・わたしの家族	(作文)
	○ 育てる	(版画)	●1999年 第27回	○ たのしいこと・うれしいこと	(作文)
●1981年 第9回	○ 夢中になってつくる	(作文)	●2000年 第28回	○ 失敗したこと・うまくいったこと	(作文)
	○ 力をあわせる	(版画)	●2001年 第29回	○ 不思議なこと・わからないこと	(作文)
●1982年 第10回	○ 心を強くうたれたこと	(作文)	●2002年 第30回	○ 好きなこと・やりたいこと	(作文)
	○ 働く	(版画)	●2003年 第31回	○ ぼくのゆめ・わたしのゆめ	(作文)
●1983年 第11回	○ 父母(祖父母)と戦争	(作文)	●2004年 第32回	○ ぼくの・わたしの宝もの	(作文)
	○ 元気に遊ぶ	(版画)	●2005年 第33回	○ ぼくの・わたしの大切なひと	(作文)
●1984年 第12回	○ 自然とともに	(作文)	●2006年 第34回	○ ぼくから・わたしからの「ありがとう」	(作文)
	○ 道具をつかう	(版画)	●2007年 第35回	○ 未来のぼく・わたしへ	(作文)
●1985年 第13回	○ 助けたこと、助けられたこと	(作文)	●2008年 第36回	○ ぼくが・わたしが「できること」	(作文)
	○ なかよしと	(版画)	●2009年 第37回	○ ぼくの・わたしの「将来のゆめ」	(作文)
●1986年 第14回	○ 私のまち・むらの暮らし	(作文・版画)	●2010年 第38回	○ だいすきなもの	(作文)
●1987年 第15回	○ おまつり	(作文・版画)	●2011年 第39回	○ たのしかったおもいで	(作文)
●1988年 第16回	○ くるまとわたしたちの生活	(作文・版画)	●2012年 第40回	○ たすけあい	(作文)
●1989年 第17回	○ 動物とわたし	(作文)	●2013年 第41回	○ もしも1つだけ願いがかなうなら	(作文)
●1990年 第18回	○ ぼく(わたし)の夢 ～大人になったら～	(作文)	●2014年 第42回	○ ぼくの・わたしのたからもの	(作文)

※第17回以降、版画は自由課題

保障のことなら

全労済

全国労働者共済生活協同組合連合会

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

子どもたちの元気で素直な作品を楽しみにしています。 たくさんのご応募をお待ちしています。

全労済日本事業本部 事業本部長

石山 康夫



全労済は、営利を目的としない生活協同組合として、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざして共済事業を営んでいます。また、共済事業に加え、豊かで安心できる社会を実現するために、社会貢献活動や教育文化活動にも取り組んでおります。さて、全労済東日本事業本部と各都県本部（茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・長野・山梨・静岡）では、社会貢献活動の一環として、子ども達の豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に作文・版画のコンクールを開催しております。このコンクールも今回で43回目（43年目）を迎えることができました。前回の第42回コンクールには、454校の小学校から1万7千点を超える作品応募をいただき、盛大なコンクールとすることができました。これも校長先生をはじめ先生方、関係機関の皆さまのご支援・ご協力の賜物と厚く御礼申し上げます。

本年も、各都県教育委員会とNHK各地方局等のご後援をいただき、児童の皆さまの作品を募集させていただきます。心よりお待ちしておりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。つきましては、児童の皆さまからの創意あふれる作品のご応募を心よりお待ちしておりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。申し込みは、児童の皆さまからの創意あふれる作品のご応募を心よりお待ちしておりますので、ご協力を賜りますようお願いいたします。

※後援につきましては予定も含みます。

作文の部

ぼくの・わたしの未来
～こんなおとなになりたいな～

あなたのことばで、 あなたのところをいま



作家・子どもの本の専門店クレヨンハウス主宰

落合 恵子

さあ、書きだそうか。テーマは「ぼくの・わたしの未来～こんなおとなになりたいな～」だ。大人のひとりとしては、ドキッとするタイトルだ。

何をどのように書くか。それはあなたに任されている。決めるのは、あなただ。あなたの作品なのだから、おもいきり自由に書こう。せせこましい枠なんていらない。

5月の朝の、10月の午後の、気持ちよく爽やかな大気の中で深呼吸するように、書いてみよう。わたしは、あなたではないので（当然だ）言えることはひとつだ。誰が何といううと、あなたはあなたの作品を書くのだ。その上で、わたしならこんな風にすすめるということを、参考までに。

まずは自分のところとまっすぐに向かい合おう。自分の部屋や図書館など、静かな場所がいいだろう。そして考えてみよう。あなたが「になりたい」と思うおとなのことを。そのおとなは、あなたのすぐ近くにいるかもしれない。あるいは、自伝や評伝、物語の中で知ったひとかもしれないし、ニュースを通して接した誰かかもしれない。おっと、その前に「おとなって、いくつぐらいからだろう」。あなたは迷うかもしれない。そんな場合は、「あなた」が「おとな」と思っひとならOK、と考えよう。

そしてつと考えよう。あなたがなりたいと思うそのひとの、どこにこんなにもあなたがころ惹かれるのかも。どこがそんなにも素敵に思え、どこに尊敬の気持ちを抱くかも。「そのひと」が決まったら、さらに思い描こう。そのひとの様子を。背は高い？それとも？どんな表情をしている？何か癖はある？口調は？等々。そのひとの外見も含めて、これが「特徴」と思えるものもひとつひとつ思い出してみよう。これから先がちよつと難しいが、それら主に外見の特徴と、そのひとの「内側」がどう結びついているかも整理してみよう。

そうしてもう一度、あなたがどうして、そのひとのようなおとなになりたいかを考えてみよう。必要だったら、①これこれこういう理由で。②他にもこんな理由で、というようにメモをしておいてもいい。そうしてそれらを終えたら、まずは「一気」に書いてみよう。細かいところを直すのは、後でいい。

加筆修正とおとなは呼ぶけれど、加えるのも削るのも、直すのは一度書き上げてから充分にできる。

まずは「一気」に、わたしなら書く。

そうして書き上げたものを、何度も何度も読み返そう。文章の流れとリズムを確かめるために、声に出して読むのもいいかもしれない。ここまで来たら、ほぼできあがったと言ってい。

大事なことは、「あなたの言葉で、あなたの気持ち」を書くことだ。コンクールというと、どうしても受賞したいとか、いろいろ考えてしまいかもしれない。それは仕方がないことだが、それより大事なことは「書く」と思い、書き続け、そして書き上げること。

わたしが尊敬する作家、井上ひさしさんは作品を書かれる時、いつも次のように考えておられたという。

「むずかしいことをやさしく、やさしいことをふかしく、ふかいことをおもしろく、おもしろいことをまじめに、まじめなことをゆかいに、そしてゆかいなことはあくまでゆかいに」と。

あなたの作品に出会えることを、待っています！～ここから。

版画の部

自由課題

ひそやかな音に耳澄ます



NPO法人市民の芸術活動推進委員会理事長

武蔵野美術大学講師 鈴石 弘之

昨年の応募要項に詩人の長田弘さんの「最初の質問」を引用させていただきました。その長田さんが長い闘病生活の後にお亡くなりになりました。まことに無念なことでもあります。敬愛していた方を失うことは辛いことでもあります。追悼の意もこめて、今回も長田さんの詩の二節を紹介しながら、版画の意味について思考したいと思います。

詩は『小道の収集』の一章です。

子どもたちをつれて、作家は草むらに草ひばりを探しにゆく。だが虫の声に、子どもたちは関心をもたない。それほど身近な自然が無関心なものになったことに、作家はおどろく。かつて街のなかに自然が溢れていた。心のなかに自然が溢れていた。

「――が今は若い人々の心に、自然は単純な自然のままはもう生きていない」。作家がそう誌した「今」とは、太平洋戦争と呼ばれた昭和の戦争の直前の時代だ。半世紀前の「今」の話だ。

追いついてゆく音。耳をつんざくような音。叩いて音がするのが文明開化だとした明治の俚言にならっていうと、日々に音をつくりだすのが文明のありようであるならば、文化というのは静けさに聞き入ることだと思ふ。もつと単純なことだ。だが、もつとも単純なことが、いまはもつとむずかしいのだ。次の単純な問題にこたえることがむずかしいように。

問題。今日、聴いた音は、次のどの音か。風の音。樹の音。鳥の音。川の音。

この原稿を書いていたら、天空からヘリコプターの空気をつんざく音が鳴り渡りました。そして階上からは人々の聞き取れないお喋りが……。

都会では既に長田さんのいうような単純な自然の音さえかき消されて人工の音が溢れかえっています。でも、それでも朝方には雀の囀りが聞こえますし、香り立つクナシの花の白が見事に輝いています。

心と体全体を使って自然に向き合う能動が版画をつくりだす原理ではないでしょうか。心が動くことは、あつーと、つい、声にだしてしまふことで証明されましよう。「目にとまったら……。つい、手をはして触つてみたくなる。触つてみたら、ザラザラ、チクチク、ふんわりしていた！

それが絵心を揺り動かしてしまうエンジンです。心が温まるのです。それが鉛筆や筆や彫刻刀などの道具を握りしめて、暖まった心の面持ちを形にしていくのです。

まさに、創造がはじまるのです。世界でたった一つのかげがえのない作品として仕上がるのです。

今年も素敵な版画がたくさんあつまりますように、願いを込めて子どもたちに今年もエールを送ります。

フレー、フレー。子どもたち。そして子どもたちを支える先生方へも！

応募締切日
2016年1月8日(金)必着

作品の送付・お問い合わせは、下記の全労済「小学生作品コンクール事務局」まで

千葉県本部 〒260-0045 千葉市中央区弁天1-17-1 ☎043-287-8142

- 学校・学年・クラス単位でまとめて応募してください。
- 個人での応募も可能です。
- 出品カード・出品名簿が足りない場合はコピーしてお使いください。
- 出品カードに必要事項を記入し(フリガナをお忘れなく)、しっかりとりづけしてください。(作文は最終ページ裏の右上、版画は裏の右下)
- 出品名簿には学年ごとの応募点数も記入してください。
- 入賞作品(小学校名・入賞者氏名)につきましては、全労済発行の刊行物およびホームページ等に掲載させていただきます。

「おとうと」というたからもの

作文の部



「かたづけは、もうだめー。」

とさけびながら、ぼくのものをとってしまふ。

がいるおかげだ。そういういみでも、けいはかなりめぐまれている。はんたいに、ぼくはゆだ

んできない。けんかも、まいにちしている。
それでも、けいはたからものだ。

けいがおもしろいことをいうと、ぼくはこ
うふんして、わらいがとまらなくなる。けいが
いないと、ぎんこうごっこも、かいぞくごっこも、
サッカーもたのしくない。いっしょにあそんでい
るけいほど、おもしろいこともはいないかもし
れない。

いっしょにいないときも、けいのころは、い
つもぼくといっしょだ。しょうがつこうで、サッ
カーたいかいがあったときのことだ。ぼくのく
みはつよいけれど、ゆだんするとまける。だか
ら、たいかいのまえは、きんちようした。まけた
くなかった。まけるのがいやすぎて、たいかいが
なくなればいいともおもってしまった。でも、が
んばった。かてた。かえってきたら、げんかんに
「ゆうへ」

とちいさいかみがたたんでおいてあった。ひら
くと、

「サッカーがんばった！」

とかいてあった。じをかくのは、にがてで、かき
かたがわからないひらがなもあるはずなのに、
びつくりした。きつとわからないじは、しらべて
かいたのだろう。けいもがんばって、ぼくにうれ
しいきもちをつたえたかったのだ。すこしバラ
ンスのわるいひらがなとメッセージが、ぼくに
はとつてもうれしかった。やつぱりけいはかわい
いなあとおもった。

いやだなとおもうこともあるけれど、ぼくは
けいのことを100%ほうっておけない。いつ
もきになる。ぼくも「けい」というおとうとがい
て、とくをしている。なぜならば、「けい」は、ぼ
くのたいせつなだからだ。

2014
年度

第42回入賞作品

作文の部 最優秀賞

わたしの中にある小さなハート

まだまだ続く宝探し

東京都・光塩女子学院初等科(二年) 佐伯 理奈さん

千葉県・国府台女子学院小学部(三年) 遠藤 さやねさん

「ありがとう」は魔法の言葉

埼玉県・川越市立高階南小学校(四年) 柴田 桃々子さん

五十八冊分の宝物

茨城県・桜川市立雨引小学校(五年) 安達 由樹さん

手紙〜みんなからの応援メッセージ〜

長野県・売木村立売木小学校(六年) 井澤 優海さん

2014
年度

第42回入賞作品

版画の部

最優秀賞



魚のおまつり

茨城県・石岡市立園部小学校(二年)

土師 虎白さん



きょうりゅうのさんぽ

栃木県・鹿沼市立永野小学校(一年)

萩原 歩夢さん



きょうりゅうたちから町をまもれ!!

埼玉県・川越市立高階北小学校(三年)

坂本 叶さん

第42回全労済小学生作品コンクール 応募小学校・教室一覧（順不同）

茨城 大洗町立夏海小学校 笠間市立笠間小学校 笠間市立岩間第三小学校 笠間市立岩間第二小学校 かすみがうら市立穴倉小学校 かすみがうら市立上佐谷小学校 つくば市立春日小学校 つくば市立吉沼小学校 つくば市立釜崎第三小学校 つくば市立吾妻小学校 つくば市立手代木南小学校 つくば市立谷田部南小学校 つくば市立筑波小学校 ひたちなか市立三反田小学校 ひたちなか市立中根小学校 水戸市立国田小学校 水戸市立城東小学校 水戸市立浜田小学校 水戸市立堀原小学校 水戸市立緑岡小学校 稲敷市立あすま西小学校 稲敷市立古渡小学校 茨城県立霞ヶ浦聾学校 茨城県立水戸聾学校 茨城県立友部特別支援学校 茨城町立広浦小学校 茨城町立大戸小学校 牛久市立中根小学校 行方市立要小学校 坂東市立逆井山小学校 桜川市立雨引小学校 鹿嶋市立鉢形小学校 取手市立高井小学校 小美玉市立羽鳥小学校 小美玉市立玉里小学校 小美玉市立堅倉小学校 小美玉市立上吉影小学校 小美玉市立竹原小学校 城里町立桂小学校 城里町立常北小学校 城里町立七会小学校 常総市立菅原小学校 常総市立豊田小学校 常陸太田市立金砂郷小学校 常陸大宮市立緒川小学校 常陸大宮市立山方小学校 神栖市立深芝小学校 神栖市立太田小学校 石岡市立章穂小学校 石岡市立園部小学校 石岡市立瓦会小学校 石岡市立関川小学校 石岡市立吉生小学校 石岡市立杉並小学校 石岡市立石岡小学校 石岡市立東小学校 石岡市立東成井小学校 石岡市立志瀬小学校 大子町立生瀬小学校 筑西市立下館小学校 筑西市立古里小学校 筑西市立小栗小学校 筑西市立上野小学校 筑西市立中小学校 潮来市立延方小学校 潮来市立大生原小学校 土浦市立真鍋小学校 東海村立中丸小学校 日立市立金沢小学校 日立市立諏訪小学校 日立市立大久保小学校 美浦村立大谷小学校 鉾田市立旭東小学校 鉾田市立新宮小学校

栃木 宇都宮市立城東小学校 宇都宮市立五代小学校 宇都宮市立城山東小学校 宇都宮市立明保小学校 宇都宮市立横川東小学校 宇都宮市立篠井小学校 宇都宮市立国本中央小学校 宇都宮市立戸祭小学校 宇都宮市立西小学校 宇都宮市立東小学校 宇都宮市立平石小学校 宇都宮市立瑞穂台小学校 宇都宮市立雀宮南小学校 宇都宮市立御幸が原小学校 宇都宮市立今泉小学校 宇都宮市立田原小学校 宇都宮市立岡本小学校 足利市立富田小学校 足利市立南小学校 大田原市立薄葉小学校 大田原市立佐久山小学校 小山市立大谷北小学校 小山市立旭小学校 小山市立小山城東小学校 小山市立穂積小学校 鹿沼市立南摩小学校 鹿沼市立加園小学校 鹿沼市立津田小学校 鹿沼市立みなみ小学校 鹿沼市立さつきが丘小学校 鹿沼市立永野小学校 佐野市立飛駒小学校 佐野市立植野小学校 佐野市立城北小学校 下野市立緑小学校 栃木市立大平西小学校 那須塩原市立埼玉小学校 那須塩原市立波立小学校 那須塩原市立東小学校 那須塩原市立大山小学校 那須塩原市立三島小学校 日光市立猪倉小学校 日光市立今市第二小学校 日光市立落合東小学校 日光市立清瀬小学校 日光市立中宮祠小学校 真岡市立長田小学校 真岡市立久下田小学校 上三川町立明治小学校 上三川町立北小学校 上三川町立上三川小学校 高根沢町立西小学校 栃木市立小野寺北小学校 栃木市立若舟小学校 野木町立新橋小学校 壬生町立安塚小学校 那珂川町立小川小学校 那須町立芦野小学校 市貝町立赤羽小学校 市貝町立小貝小学校 芳賀町立芳賀南小学校 益子町立益子小学校 栃木県立聾学校

群馬 前橋市立桂萱小学校 前橋市立原小学校 前橋市立城南小学校 前橋市立大利根小学校 高崎市立東小学校 高崎市立塚沢小学校 高崎市立中川小学校 高崎市立北部小学校 高崎市立片岡小学校 高崎市立新町第二小学校 高崎市立金古南小学校 高崎市立堤ヶ岡小学校 桐生市立南小学校 桐生市立桜木小学校 桐生市立梅田南小学校 伊勢崎市立豊受小学校 伊勢崎市立赤堀東小学校 太田市立宝泉東小学校 太田市立南小学校 沼田市立池田小学校 沼田市立多那小学校 富岡市立富岡小学校 富岡市立一ノ宮小学校 富岡市立吉田小学校 安中市立秋間小学校 吉岡町立明治小学校 下仁田町立下仁田小学校 長野原町立応桑小学校 草津町立草津小学校

埼玉 さいたま市立大砂土小学校 さいたま市立仲本小学校 さいたま市立指扇北小学校 さいたま市立上里小学校 さいたま市立善前小学校 さいたま市立太田小学校 伊奈町立南小学校 幸手市立幸手小学校 行田市立東小学校 三郷市立新和小学校 三郷市立丹後小学校 春日部市立備後小学校 春日部市立川辺小学校 春日部市立幸松小学校 上尾市立瓦葺小学校 川越市立霞ヶ関南小学校 川越市立高階南小学校 川越市立寺尾小学校 川越市立泉小学校 川越市立高階北小学校 川越市立川越小学校 川越市立中央小学校 川口市立戸塚東小学校 川口市立十二日田小学校 川口市立戸塚南小学校 川口市立青木中央小学校 川口市立仲町小学校 川口市立中居小学校 草加市立長栄小学校 朝霞市立朝霞第一小学校 白岡市立白岡東小学校 八潮市立大原小学校 嵐山町立菅谷小学校 ふじみ野市立鶴ヶ丘小学校 羽生市立新郷第二小学校 戸田市立戸田東小学校 戸田市立笹目東小学校 東松山市立青鳥小学校 本庄市立北泉小学校 本庄市立本庄西小学校 加須市立元和小学校 神川町立神泉小学校 埼玉県立特別支援学校塙保一学園（小学部）

千葉 市原市立ちはら台桜小学校 柏市立風早北部小学校 千葉日本大学第一小学校 我孫子市立我孫子第三小学校 我孫子市立根戸小学校 鎌ヶ谷市立初富小学校 国府台女子学院小学部 市原市立菊間小学校 市原市立牛久小学校 市原市立国府小学校 市原市立国分寺台西小学校 市原市立国分寺台東小学校 市原市立市原小学校 市原市立市西小学校 市原市立市東第二小学校 市原市立清水谷小学校 市原市立石塚小学校 市原市立千種小学校 市原市立東海

小学校 市原市立白幡小学校 市川市立鶴指小学校 市川市立宮久保小学校 市川市立新井小学校 市川市立大洲小学校 市川市立大野小学校 勝浦市立興津小学校 勝浦市立上野小学校 松戸市立高木小学校 松戸市立上本郷小学校 千葉県立四街道特別支援学校 千葉県立八千代特別支援学校 千葉市立稲毛第二小学校 千葉市立宮野木小学校 千葉市立若松台小学校 千葉市立真砂西小学校 千葉市立蘇我小学校 千葉市立都賀小学校 千葉市立幕張南小学校 千葉市立有吉小学校 袖ヶ浦市立蔵波小学校 袖ヶ浦市立長浦小学校 筑波大学附属聴覚特別支援学校 日出学園小学校 野田市立二ツ塚小学校

東京 足立区立中川小学校 足立区立平野小学校 足立区立洲江第一小学校 荒川区立峡田小学校 荒川区立第二日暮里小学校 板橋区立上板橋小学校 板橋区立中根橋小学校 江戸川区立小岩小学校 江戸川区立第四葛西小学校 江戸川区立西小岩小学校 江戸川区立東小岩小学校 江戸川区立本一色小学校 大田区立糎谷小学校 大田区立山王小学校 大田区立多摩川小学校 大田区立徳持小学校 絵画造形サークル 葛飾区立清和小学校 曉星小学校 光塩女子学院初等科 江東区立第二辰巳小学校 国本小学校 小平市立学園東小学校 品川区立小中一貫校伊藤学園 品川区立鮫浜小学校 品川区立第三日野小学校 渋谷区立神南小学校 渋谷区立中幡小学校 杉並区立高井戸小学校 世田谷区立池之上小学校 世田谷区立祖師谷小学校 世田谷区立山崎小学校 台東区立大正小学校 台東区立台東育英小学校 台東区立松葉小学校 台東区立谷中小学校 中央区立明石小学校 東京学芸大学附属小金井小学校 東京創価小学校 東京都立大塚ろう学校永福分教室小学部 東京都立大塚ろう学校江東分教室小学部 東京都立久我山青光学園小学部 東京都立小平特別支援学校小学部 東京都立墨田特別支援学校小学部 練馬区立大泉東小学校 八王子市立散田小学校 東久留米市立第一小学校 日野市立日野第六小学校 日の出町立平井小学校 府中市立府中第七小学校 府中市立矢崎小学校 宝仙学園小学校 町田市立忠生小学校 三鷹市立大沢台小学校 港区立青南小学校 明星小学校 目黒星美学園小学校 豊島区立池袋本町小学校

神奈川 川崎市立宮前小学校 川崎市立川崎小学校 田島支援学校桜校 川崎市立向小学校 川崎市立小田小学校 川崎市立下沼部小学校 川崎市立玉川小学校 川崎市立大谷戸小学校 川崎市立古川小学校 川崎市立久本小学校 川崎市立梶ヶ谷小学校 川崎市立久末小学校 川崎市立南菅小学校 川崎市立下布田小学校 川崎市立中野島小学校 川崎市立稲田小学校 川崎市立王禅寺中央小学校 川崎市立岡上小学校 川崎市立大蔵小学校 横浜市立北山田小学校 横浜市立さつきが丘小学校 横浜市立北方小学校 横浜市立日野南小学校 横浜市立本宿小学校 大和市立大野原小学校 相模原市立当麻田小学校 相模原市立内郷小学校 相模原市立弥栄小学校 相模原市立相武台小学校 綾瀬市立寺尾小学校 平塚市立崇善小学校 平塚市立富士見小学校 秦野市立大根小学校 秦野市立鶴巻小学校 秦野市立南が丘小学校 秦野市立本町小学校 秦野市立北小学校 秦野市立西小学校 秦野市立渋沢小学校 藤沢市立石川小学校

長野 長野市立東条小学校 長野市立昭和小学校 長野市立三本柳小学校 長野市立信田小学校 長野市立塩崎小学校 長野市立中条小学校 長野市立南部小学校 長野市立朝陽小学校 上田市立神科小学校 上田市立城下小学校 上田市立長小学校 池田町立会染小学校 松本市立梓川小学校 茅野市立金沢小学校 茅野市立湖東小学校 下諏訪町立下諏訪南小学校 富士見町立境小学校 岡谷市立小井川小学校 岡谷市立岡谷小学校 岡谷市立湊小学校 伊那市立手良小学校 伊那市立伊那北小学校 伊那市立伊那東小学校 栄村立栄小学校 飯山市立木島小学校 中野市立中野小学校 飯島町立七久保小学校 箕輪町立箕輪西小学校 豊丘村立豊丘北小学校 阿智村立阿智第一小学校 売木村立売木小学校 長野県松本盲学校 信州大学教育学部附属松本小学校

山梨 山梨大学教育人間科学部附属小学校 甲府市立新紺屋小学校 佐野絵画教室 山梨県立甲府支援学校 甲斐市立双葉東小学校 甲斐市立敷島南小学校 山梨学院大学附属小学校 富士河口湖町立大石小学校 甲州市立大藤小学校 山梨市立三富小学校 山梨市立加納岩小学校 上野原市立島田小学校 上野原市立西原小学校

静岡 菊川市立内田小学校 菊川市立河城小学校 磐田市立長野小学校 菊川市立小笠東小学校 掛川市立中小学校 袋井市立浅羽東小学校 掛川市立原田小学校 浜松市立飯田小学校 浜松市立浜名小学校 浜松市立入野小学校 浜松市立可美小学校 浜松市立幡江小学校 浜松市立神久呂小学校 浜松市立豊西小学校 浜松市立元城小学校 浜松市立相生小学校 静岡県立浜松特別支援学校 浜松市立芳川北小学校 浜松市立浦小学校 川根本町立本川根小学校 島田市立初倉小学校 島田市立島田第四小学校 島田市立島田第五小学校 島田市立大津小学校 焼津市立小川小学校 焼津市立焼津南小学校 静岡県立清水特別支援学校小学部 静岡サレジオ小学校 静岡市立清水岡小学校 静岡市立南都小学校 静岡市立大里西小学校 静岡市立大里東小学校 静岡市立東源台小学校 静岡市立大河内小学校 静岡市立玉川小学校 静岡市立大川小学校 牧之原市立相良小学校 牧之原市立細江小学校 牧之原市立坂部小学校 静岡市立長田東小学校 静岡市立長田北小学校 静岡県立静岡北特別支援学校 静岡市立井宮北小学校 常葉大学教育学部附属橘小学校 静岡市立葵小学校 静岡市立番町小学校 静岡市立駒形小学校 下田市立白浜小学校 伊東市立旭小学校 伊東市立南小学校 伊東市立川奈小学校 伊東市立西小学校 伊東市立池小学校 静岡県立東部特別支援学校 静岡県立沼津聴覚特別支援学校 沼津市立大岡小学校



色とりどりの菊

長野県・売木村立売木小学校（六年）

齊藤 龍希さん



第42回入賞作品

版画の部

最優秀賞



マグマをわたるドラゴン

東京都・世田谷区立池之上小学校（四年）

古賀 恵仁さん



リズムにのって、さあいくぞ！

神奈川県・秦野市立大根小学校（五年）

岸 和さん

2015年度 第43回全労済小学生作品コンクール

出品名簿

とりまとめ用（作文
版画）

◀いずれかに○をつけてください。

都県名

小学校名または団体名称（小学校は〇〇県立・私立等からご記入ください。）

フリガナ

小学校または団体の住所

電話番号（ ）

指導された先生のお名前

学年	組	性別	氏 名(フリガナも必ずご記入ください)			題 名			備 考	
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							
年	組	男・女	フリ ガナ							

※ご記載いただいた個人情報は、「個人情報保護法」にもとづき、その取り扱いについて充分留意するとともに、当作品コンクール以外での使用目的では、一切利用いたしません。

第43回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—

＜キリトリ線＞

第43回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—

第43回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—

＜キリトリ線＞

第43回 出品カード

作文

版画

題 名

学 年

性 別

フリガナ

年

男・女

氏 名

自 宅 住 所

フリガナ

小学校名または所属団体名

個人で応募の場合は○をつけてください

個人

小学校または所属団体所在地

〒

—